



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年1月29日

上場会社名 株式会社サンリツ 上場取引所 東
 コード番号 9366 URL <https://www.srt.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三浦 康英
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 尾留川 一仁 TEL 03-3471-0011
 四半期報告書提出予定日 2021年2月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	10,967	△11.7	459	△31.2	398	△35.4	323	△0.8
2020年3月期第3四半期	12,421	△5.7	667	△20.7	616	△20.8	326	△38.9

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 347百万円 (6.8%) 2020年3月期第3四半期 325百万円 (△27.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	57.98	56.61
2020年3月期第3四半期	58.50	57.58

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	19,994	8,557	42.1	1,505.84
2020年3月期	18,947	8,334	43.2	1,467.46

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 8,419百万円 2020年3月期 8,191百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	26.00	26.00
2021年3月期	—	0.00	—		
2021年3月期（予想）				13.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,500	△11.7	370	△55.5	340	△55.9	250	△47.8	44.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	6,006,373株	2020年3月期	6,006,373株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	415,447株	2020年3月期	424,347株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	5,586,476株	2020年3月期3Q	5,582,121株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界の経済状況は、新型コロナウイルスの感染再拡大により、各国で再開されつつあった経済活動が再び制限され、先行き不透明な状況が続きました。日本においては、感染拡大の防止策と同時に、各種支援策を実施することで、経済活動が維持されたものの、依然として感染拡大に歯止めがかからず、世界経済同様に先行き不透明な状況が続きました。

物流業界におきましては、国際貨物は中国向け貨物においては回復の動きがみられたものの、感染の再拡大等の影響を受け、全体としては低調に推移いたしました。国内貨物は消費関連貨物のマイナス幅は縮小したものの、依然として感染拡大の影響により生産関連貨物を中心に低調に推移いたしました。

このような事業環境の中、当グループは工作機械の取扱いが大幅に減少したことに加え、その他製品の取扱いも全般的に伸び悩み、厳しい状況が続きました。

なお、2019年9月に発生した台風15号及び10月に発生した台風19号の災害保険金収入として、特別利益1億78百万円、災害による損失として特別損失6百万円を計上する一方、保有株式の時価の著しい下落により、投資有価証券評価損として特別損失16百万円を計上いたしました。また、国内子会社において、特別退職金として特別損失40百万円を計上いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高109億67百万円（前年同期比11.7%減）、営業利益4億59百万円（前年同期比31.2%減）、経常利益3億98百万円（前年同期比35.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益3億23百万円（前年同期比0.8%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 梱包事業部門

工作機械の取扱いが大幅に減少したことに加え、その他製品の取扱いも全般的に伸び悩み、売上高、セグメント利益ともに減少いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高74億58百万円（前年同期比14.7%減）、セグメント利益7億3百万円（前年同期比24.6%減）となりました。

② 運輸事業部門

工作機械及び医療機器の取扱いが大幅に減少したことにより、売上高、セグメント利益ともに減少いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高15億38百万円（前年同期比18.6%減）、セグメント利益73百万円（前年同期比0.2%減）となりました。

③ 倉庫事業部門

外部賃貸倉庫における小型精密機器の取扱い増加等の影響により、売上高、セグメント利益ともに増加いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高17億62百万円（前年同期比11.7%増）、セグメント利益3億89百万円（前年同期比11.4%増）となりました。

④ 賃貸ビル事業部門

本社ビルの稼働率が低下したことにより、売上高は減少いたしました。

セグメント利益につきましては、定期修繕の減少により増加いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高2億7百万円（前年同期比3.7%減）、セグメント利益84百万円（前年同期比11.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産199億94百万円となり、前連結会計年度末に比べ、10億46百万円増加いたしました。主な内容は、以下のとおりであります。

流動資産につきましては、67億6百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億59百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の増加15億11百万円、受取手形及び売掛金の増加58百万円によるものであります。

固定資産につきましては、132億87百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億12百万円減少いたしました。これは主に、有形固定資産において、建物及び構築物の減少2億40百万円、機械装置及び運搬具の減少61百万円及びリース資産の減少1億76百万円、投資その他の資産において、投資有価証券の増加60百万円、繰延税金資産の減少86百万円によるものであります。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、114億36百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億23百万円増加いたしました。

流動負債につきましては、50億74百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億95百万円増加いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少88百万円、短期借入金の増加6億82百万円、賞与引当金の減少88百万円及び災害損失引当金の減少88百万円によるものであります。

固定負債につきましては、63億61百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億27百万円増加いたしました。これは主に、長期借入金の増加7億46百万円、リース債務の減少1億81百万円によるものであります。

③ 純資産

純資産につきましては、85億57百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億22百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金の増加1億77百万円、その他有価証券評価差額金の増加51百万円及び為替換算調整勘定の減少24百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の43.2%から42.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期通期の連結業績予想につきましては、2020年10月30日公表の業績予想から変更はありません。今後何らかの要因により業績予想を見直す必要性が生じた場合は、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,780,721	3,292,651
受取手形及び売掛金	3,018,723	3,077,096
原材料及び貯蔵品	145,371	163,000
その他	207,031	178,045
貸倒引当金	△4,300	△4,200
流動資産合計	5,147,547	6,706,593
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,688,513	7,447,874
機械装置及び運搬具（純額）	493,986	432,127
土地	2,359,837	2,357,258
リース資産（純額）	1,448,471	1,271,640
建設仮勘定	—	5,640
その他（純額）	39,811	33,376
有形固定資産合計	12,030,619	11,547,917
無形固定資産		
ソフトウェア	21,202	25,405
その他	689	586
無形固定資産合計	21,891	25,991
投資その他の資産		
投資有価証券	383,603	444,510
繰延税金資産	739,012	652,371
その他	632,194	623,661
貸倒引当金	△6,947	△6,840
投資その他の資産合計	1,747,862	1,713,702
固定資産合計	13,800,374	13,287,610
資産合計	18,947,922	19,994,204

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	618,540	530,031
短期借入金	2,395,184	3,077,234
リース債務	265,629	229,109
未払法人税等	121,883	66,621
賞与引当金	260,476	172,440
災害損失引当金	88,136	—
その他	1,029,385	999,274
流動負債合計	4,779,236	5,074,711
固定負債		
長期借入金	3,075,365	3,821,582
リース債務	1,172,943	991,510
退職給付に係る負債	874,033	854,341
資産除去債務	456,536	456,031
金利スワップ	50,989	35,482
その他	203,863	202,678
固定負債合計	5,833,730	6,361,626
負債合計	10,612,966	11,436,338
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,523,866	2,523,866
資本剰余金	2,441,128	2,441,128
利益剰余金	3,444,205	3,621,881
自己株式	△208,893	△204,512
株主資本合計	8,200,306	8,382,364
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	90,175	142,142
繰延ヘッジ損益	△35,376	△24,617
為替換算調整勘定	△27,835	△51,902
退職給付に係る調整累計額	△35,874	△28,973
その他の包括利益累計額合計	△8,911	36,648
新株予約権	41,247	58,387
非支配株主持分	102,312	80,466
純資産合計	8,334,955	8,557,866
負債純資産合計	18,947,922	19,994,204

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

(第 3 四半期連結累計期間)

(単位 : 千円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 2019年 4 月 1 日 至 2019年 12 月 31 日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 2020年 4 月 1 日 至 2020年 12 月 31 日)
売上高	12,421,381	10,967,116
売上原価	9,965,132	8,599,265
売上総利益	2,456,249	2,367,851
販売費及び一般管理費		
販売費	840,761	857,619
一般管理費	948,221	1,051,013
販売費及び一般管理費合計	1,788,983	1,908,632
営業利益	667,265	459,218
営業外収益		
受取利息	1,893	596
受取配当金	11,338	9,675
受取保険金	6,300	6,195
為替差益	4,334	—
助成金収入	—	10,394
その他	3,634	8,960
営業外収益合計	27,502	35,823
営業外費用		
支払利息	78,109	71,727
為替差損	—	23,719
その他	4	1,538
営業外費用合計	78,113	96,985
経常利益	616,655	398,056
特別利益		
固定資産売却益	—	1,199
投資有価証券売却益	3,450	—
災害保険金収入	9,315	178,515
災害損失引当金戻入額	—	4,739
特別利益合計	12,765	184,454
特別損失		
投資有価証券売却損	2,687	—
投資有価証券評価損	—	16,829
災害による損失	120,627	6,576
特別退職金	—	40,129
特別損失合計	123,314	63,534
税金等調整前四半期純利益	506,106	518,976
法人税、住民税及び事業税	110,096	158,782
法人税等調整額	67,407	58,753
法人税等合計	177,503	217,535
四半期純利益	328,602	301,441
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失 (△)	2,036	△22,447
親会社株主に帰属する四半期純利益	326,565	323,888

四半期連結包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	328,602	301,441
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,566	52,748
繰延ヘッジ損益	17,389	10,758
為替換算調整勘定	△32,221	△24,066
退職給付に係る調整額	6,325	6,900
その他の包括利益合計	△2,940	46,340
四半期包括利益	325,662	347,781
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	325,082	369,447
非支配株主に係る四半期包括利益	579	△21,666

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	梱包事業	運輸事業	倉庫事業	賃貸ビル事業	計	
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	8,739,099	1,889,568	1,577,595	215,118	12,421,381	12,421,381
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	3,598	—	—	3,598	3,598
計	8,739,099	1,893,166	1,577,595	215,118	12,424,980	12,424,980
セグメント利益	933,649	73,340	349,400	76,143	1,432,534	1,432,534

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,432,534
セグメント間取引消去	243
全社費用（注）	△765,512
四半期連結損益計算書の営業利益	667,265

(注) 全社費用は、主に当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	梱包事業	運輸事業	倉庫事業	賃貸ビル事業	計	
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	7,458,726	1,538,675	1,762,464	207,250	10,967,116	10,967,116
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	2,736	—	—	2,736	2,736
計	7,458,726	1,541,411	1,762,464	207,250	10,969,852	10,969,852
セグメント利益	703,859	73,187	389,088	84,680	1,250,816	1,250,816

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,250,816
セグメント間取引消去	225
全社費用（注）	△791,823
四半期連結損益計算書の営業利益	459,218

(注) 全社費用は、主に当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。